

令和4年度 敦賀南小学校 スクールプラン

児童の実態
保護者の願い
地域の願い
教師の願い

敦賀市「知・徳・体」令和プラン
知：学びを通して考える力
徳：内面を豊かにする力
体：たくましく生きる力
「ふるさと敦賀を愛し、知性・富み、心豊かで、健康な人の育成」

【学校教育目標】
生きる 力と喜びに満ちた南の子の育成

夢

【めざす児童像】

仲間

挑戦

ひとりであるく【自立する子】

みんなとあるく【協調性のある子】

力のかぎりあるく【努力をする子】

【重点 目標】

〈豊かな心〉

- ① 自他の生命と人権を尊重する心の育成
- ② 仲間との協働を通じた高め合う関係
- ③ 安心して過ごせる温かな学級づくり

〈確かな学力〉

- ① 論理的に伝える力をつける協働的な授業
- ② 夢を実現するための個別最適な学びを充実
- ③ 学習習慣と知識・技能の確実な定着

〈たくましい体〉

- ① 健康で安全な生活を営む力の育成
- ② 基礎体力と粘り強く挑戦する意欲の向上
- ③ 安全意識と危険回避能力の育成

〈地域に根ざした学校〉

- ① 保護者や地域に信頼される学校づくり
- ② 幼保小連携、小中一貫教育の推進
- ③ ふるさと敦賀を愛する南の子の心づくり

【具体的な取り組み】

○人権感覚の涵養と道徳教育の充実

- ・人権に関する知的理解をすすめ、「自他の権利」「他者への敬意」を考え、人権意識を高める教育を計画的に実施
- ・言語環境を整え人権感覚を磨く（児童・教職員）
- ・「きまり」「ルール」に注目し、「規範」「善悪」「個人と公」について考える道徳を充実
→「いじめアンケート」キャンペーン実施

○互いを認め合い、高め合う仲間づくり

- ・ペア学年・縦割り活動を通して、効果的な人間関係づくりを実施：（清掃、縦割り活動）
- ・自治的活動を通し、社会性を育む（児童会活動）
- ・遠隔システムを活用した交流活動の充実（小中連携、小小連携、保幼小連携、地域の方）
→異学年と力を合わせて活動できた児童90%以上
→隅々まで丁寧に掃除をしたと答える児童90%以上

○いじめ・不登校の未然防止・早期対応

- ・所属欲求・承認欲求を充足させ、自己肯定感を高め居心地のよい学級・仲間づくりを強化
→学校生活が楽しい児童95%以上
- ・多面的なアセスメントに基づいた児童理解と組織的な教育相談活動を充実。
- ・いじめ・不登校を初期の段階で対応「いじめ防止基本方針」の徹底（かたての活用）
→「いじめは絶対だめ」といえる児童100%

○心を育む読書活動の推進

- ・家庭読書、必読読書ラリー、語り聞かせの実施

○「論理的に伝える（表現する）力」をつける授業づくり

- ・「見通し」を持ち、単元のゴールが意識できる「課題」を設定
- ・「自分の考え」を「目的」に応じて、相手にわかりやすく伝える力をつける授業を充実させる。
- ・「伝える力」を発達段階に応じて系統立てた「授業構成」を考える。
→「見通しを持たせ」と答える児童90%以上
→「力がついた」と答える児童85%以上

○情報を共有し、協働的な学びを実現するタブレット端末の活用

- ・情報を整理するためにシンキングツールを活用
- ・相手を意識した双方向の情報共有を取り入れ、協働的な学びを実現
- ・基礎的な言語能力の育成のために「ことばの広場、短文・俳句柳づくり」でのICTを活用
→タブレットを活用した授業公開を学期に1回以上

○個別最適な学びを実現する特別支援教育と家庭学習の充実

- ・特性に応じた指導・支援方法の工夫、ユニバーサルデザインの授業づくり
- ・家庭学習の習慣づけと学習の仕方の習得
→毎日目安の時間以上学習している児童85%以上
- ・小中の連携を生かした弱点補強と強化
- ・ドリル教材を使った弱点補強
→標準テストの平均85点以上

○家庭と連携した健康的な生活習慣づくり

- ・「早寝早起きしっかり朝食」の励行
- ・「いのちの学習」「食に関する指導」の計画的実施
→食育の指導、毎学期1回以上
- ・食物アレルギーへの適切な対応
- ・学習時の正しい姿勢の指導

○デジタルシチズンシップ教育の充実

- ・PTAと連携し、SNS やスマホとの付き合い方、ネット・ゲーム依存を防ぐ環境づくりを学ぶ
→親子で学ぶデジタルシチズンシップ研修を実施
- ・系統的な情報モラル教育の実施
→「南の子ルール」の見直し 情報教育：学期2H以上
→ネット利用の実態把握：年2回実施

○基礎体力と粘り強く取り組む意欲の向上

- ・継続的な運動週間（マラソン・縄跳び）の推進
- ・達成目標を明らかにした体育的行事の充実
- ・外遊びや学級での全員遊びの奨励
→体を動かすことが好きな児童95%以上

○安全意識と危険回避能力の育成

- ・交通安全指導の強化（登下校指導、通学班会議、交通安全教室、見守り隊との連携）
→ヘルメットの着用率100%
- ・学校事故の防止と啓発（安全な廊下歩行）
- ・危険回避能力を育てる保健安全指導の充実
→学校事故の発生 年間10件以下
- ・実践的な避難訓練の徹底
→不審者対応訓練・引き渡し訓練等年4回実施

○社会に開かれた教育課程の共有

- ・計画的な学校公開（オープンスクール、学校行事等）
- ・積極的な情報発信（学校だより、HP、遠隔）
- ・PTAとの連携による家庭教育への意識高揚
- ・関係機関との情報交換による課題の解決
→HPの更新毎週1回以上、おたよりのデジタル化

○小中一貫教育ならびに幼保小・小小連携の充実

- ・気比中学校区の学力向上、生徒指導の小中一貫組織の構築および小中一貫教育の推進
→学調結果を共有した弱点補強会議の実施 3回以上
- ・遠隔や動画配信を活用した幼保小の連携（接続リキラムの実践）
- ・放課後児童クラブとの連携による児童への支援

○学校評価の効果的な活用

- ・児童・保護者・教職員による自己評価
- ・地域・学校協議会による学校関係者評価
- ・評価結果を生かした教育活動の改善と推進
→学校の教育活動に満足している保護者95%以上
→アンケートのデジタル化、遠隔による学級懇談会の実施

○「夢と希望」を描くふるさと学習の推進

- ・新幹線開業に向けたふるさと学習の実施
- ・ふるさと教材、地域人材の効果的な活用
- ・ふるさとが好きな体験学習の計画的な実施
→ふるさと敦賀が好きな児童95%以上
→ふるさと地域行事やボランティアへの参加85%以上
- ・地域と連携したキャリア教育の推進
→将来の夢や目標を持つ児童95%以上

【めざす学校像】

全校児童が笑顔で通える学校

【業務改善に向けて】

- おたよりのデジタル配信
- 欠席連絡、健康観察のデジタル化
- 職員の意識改革の推進
- 超過勤務を確認し労務管理を徹底